

SA コマンド (ソフトウェア LFO[音量]設定) [OPM 専用]

[書式]

SA<delay>,<pitch>,<steps>,<OP>

音量に対するソフトウェア LFO を設定します (Software LFO Amplitude)

同時に LFO を開始します。

実行した時点で常にキーオン同期モードになります。非同期モードにしたい場合は SSA コマンド をご使用ください。

ソフトウェア LFO の処理はテンポには影響されず、常に 16.384 ミリ秒単位で行われます。たとえば <delay> に 61 を指定すると、 $16.384 \times 61 = 999.424$ ミリ秒 = 約 1 秒です。

<delay>

LFO が掛かりはじめるまでの時間を指定します。設定可能範囲は 1 ~ 255 です。

<depth>

16.384 ミリ秒あたりの TL 減算値を指定します。設定可能範囲は 1 ~ 8 です。

<steps>

1 振幅あたりの TL 減算回数を指定します。設定可能範囲は 1 ~ 255 です。

<OP>

対象とするオペレータを指定します。設定可能範囲は 0 ~ 15 です。これは オペレータマスク と同じ値です。

値の省略時は、前回指定した値が代入されます。SR コマンド や SRA コマンド と併用すると、スイッチのオン・オフのように使用可能です。

[例] 左のように値を省略した場合、右の内容と等価になる

A {	;	A{
SA20,1,6,15 l2cd	;	SA20,1,6,15 l2cd
SRA ef	;	SRA ef
SA ga	;	SA20,1,6,15 ga
SA,,4 b>c	;	SA20,1,4,15 b>c
}	;	}

PSG トラックの場合

本コマンドは使用できません。

PSG 音色定義 (@P) でトレモロ系のエンベロープを作成し、代用してください。

関連

SR コマンド , SRA コマンド , SSA コマンド